

# 中国の高等職業技術学校におけるデザイン教育について

— 山東芸術学院、済南職業学院を事例にして —

劉 霄\*・福田 隆眞

On Design Education in Higher Occupation Technical School in China:  
A case study on Shandong School of Art and Ji Nan Training College

LIU Xiao\*, FUKUDA Takamasa

(Received August 6, 2014)

キーワード： 高等職業教育、デザイン教育、職業教育、市場ニーズ、実践教学

## はじめに

経済のグローバル化に伴い、中国高等職業芸術デザインは新たな発展時期に入っている。2009年に中国の首相温家宝は国家科学教育会議で「百年の計は教育が元なり」とする講演を行った。その講演によると、国家は職業教育を重要な位置に付けをし、職業教育の根本的な目的は人に技能を身に付けさせることである。それによって国民は就職が増大し、社会に貢献することができるようになる。(注1)

中国の経済がグローバル化して、経済市場はより多くの海外の資金、外国企業、外国の商品を受け入れ、世界経済はより速いスピードで中国のマーケットに浸透している。中国の生産は個人工房から集団作業に変わり、労働密集から技術濃縮に変わった。それによって、たくさんの技術職種は、芸術デザインに従事する人に文化的素養と技術の面でもっと厳しく要求するようになってきた。そのような状況が高等職業芸術デザイン教育の発展に多くのチャンスと市場を提供し、多くの企業は人材誘致から人材育成に変わっている。そのことにより、高等職業技術学校と企業の間での相互促進の関係をなしている。

高等職業教育の質は直接的に国家基礎産業の発展に影響を与える。大学教育に相当する1200の高等職業学校のなかで、芸術デザイン専攻を開設している学校は700校あまりある。現在は電子産業関連と製造関連の専攻に継いで3番目の専攻になっている。先進国家の中で教育の多元化は教育の発展にとって避けて通れない道になっている。

1990年代以前、中国の職業技術教育は主に西洋の教育経験を学び、導入した。芸術デザイン教育の科目は種類が多く、課程も就職に適応していなかった。そこでは、職業技能の育成と企業との連携が不足し、高等職業デザイン教育の特色が明らかではなかった。

そこで本稿では、現在の中国の高等職業技術学校の教育の現状と一般的なデザイン教育の内容を述べ、具体的な調査として、山東芸術学院と済南職業学院の視覚伝達デザインの内容を述べ、高等教育と社会や企業との連携による教育内容の具体化、質的向上について考察する。

## 1. 中国の高等職業技術学校の教育現状について

### 1-1 高等教育について(本科教育、高等職業教育)

中国の高等教育の中で本科教育と高等職業教育は重要な位置を持っている。本科教育と高等職業教育は中国高等教育発展の中に現れる二つの高等教育タイプである。(注2)本科教育は学制が4年間であり、総合大学や芸術大学などがある。高等職業教育(即ち:短期大学)は学制が一般的に3年間である。二つの区別は

\*山口大学大学院美術教育専修

レベルの区別ではなく、タイプの違いである。簡単に言うと、本科教育は学位認証を主とする理論研究型の教育であり、短期大学は資格認証を主とする実践応用型の教育である。二つの教育体系は育てる人材のタイプも異なる。(注3)

#### 本科教育:

本科教育は育てる人材タイプの違いによって普通本科教育と応用型の本科教育に分けられる。普通本科教育は科学研究に向けて又は理論研究型の人材を育てる。関連科目の基礎理論、専門知識と基本技能を習得して、且つ科学研究に従事する又は専門技術の仕事を担当する初期的な人材を育てる。学生に合理的知識の構造を具えること、科学の仕事の方法を把握すること、正確に問題を判断し、解決すること、生涯学習の能力と習慣を備えること、多くの職業領域に適応し、適任することを要求する。

応用型の本科教育は生産生活実践向けに、ハイテク部門、技術密集産業と他の行政管理部門の高級応用型の人材を育て、彼らに現場に要する管理者と責任者と職業学校の教員を育てる役割を果たしている。

#### 高等職業教育:

高等職業教育の目的は大量の技能人材を育てることである。生産、建設、サービスと管理の現場に要するハイテク人材を育てることにある。特に大量の高級技術従事者の育成であり、企業が高級技術従事者に対するニーズを満たすことができることを目的としている。一定の理論知識を身につけ、専門的な技能を持ち、ある職業に適任することを要求する。

課程設置の面では本科の学科設置は当該学科の理論体系をフレームとして課程を設置する。課程設置は理論知識の系統化、知識構造の関連性と学生の将来発展のニーズを考え、即ち選択科目+専攻理論科目+専門科目の構造である。

それと違って高等職業教育の学科設置は課程体系が明らかに職業性を持っている。つまり、専門的な理論知識を考えている、同時に職業訓練などの要求も配慮している。つまり、基礎専攻科目+専攻実践科目の課程設置である。基礎理論は学科の基礎であり、応用を目的とし、課程設置は理論知識の実用を重視する。

高等職業教育は中国高等教育体系の重要な部分である。中国高等職業教育を高等学歴教育に取り入れるのは1998年以降であり、中国が高等職業教育に対する位置づけは、社会に貢献し、社会に技術人材を提供することである。職業教育は普通の本科教育と違い、普通の本科教育は理論性、科学研究と専門性を重視するが、高等職業教育の教育特色は実践性、技術性と職業性を重視する。近年では、「科学と教育で国を興す」戦略の展開と社会、経済の急速な発展を伴って高等職業教育の発展空間も大きくなる。2005年の全国高等職業募集人数は268.1万人に上った。全国の普通高等学校の募集人数の53.1%を占めて1998年の5.6倍である。在学の学生の人数から見ると、2005年の在学の人数は713万人であり、本科と短期大学の総人数の45.7%を占めて1998年より11.3%増えている。学校の数から見ると、2005年全国の高等職業学校は1091校であり、普通高等学校の60.9%を占めて1998年の2.5倍である。現在の高等職業学校の中で、芸術デザイン専攻を開設している学校は8割ある。

### 1-2 職業技術学校のデザイン教育

20世紀80年代中期から中国の改革開放の政策の実施を伴って、様々な芸術思想と芸術形式が現れ、相互に浸透し、特に西洋現代デザイン思想の影響を受けて、人々の物質生活、産品消費などの生活方式が変わりつつある。

中国早期の工芸美術の教学パターンはデザイン領域のニーズに合わなくて、教学パターンの改革と分類を伴って、各工芸美術学校は専攻方向を調整し始めた。総合学校と高等職業学校も相次いで、工業デザイン、広告デザイン、染色デザイン、装飾デザイン、環境デザインなどの専攻を開設した。しかし、中国の大学はデザイン教育の開設そのものが遅く、デザイン専攻での経験実績は豊富ではなかった。近年になって、高等職業学校のデザイン教育発展はめざましく、デザインは多くの高等職業学校の大人気の専攻になっている。しかし、教育パターンには問題があった。

中国の現代デザイン教育の始まりは遅く、多くの職業学校のデザイン教育は伝統工芸美術教育パターンのもとで行われていた。固定した課程の授業方式は職業教育の個性発展を妨げ、職業デザイン教育は市場のニーズから外れているという問題があった。

1970年代末になって取り入れたバウハウスのデザイン教育大系は、平面構成、色彩構成、立体構成の三大構成教育を土台としており、従来のデザイン領域に大きく影響を与え、新しいデザイン教育の基礎となって現在まで使われている。

デザインの専門は実践性がとても強い専門である。室内デザイン、視覚伝達デザイン、環境芸術デザインなどのようなデザイン専門は卒業生に対して高い技術能力を要求する。しかし、数多くの高等職業学校では、必要な実践工房がないので、実践課程をしっかりと実現難しく、そのデザイン作品の課題も社会のニーズからかけ離れて、生徒の実践教育の目的が達成することができない。高等職業教育は基本的な素質の強化と専門技術の教授を基礎とし、能力の培養を強調し、実践の一環性を大切にして始めて、生徒は実践から専門を理解することができる。理論を実践に活用してこそ、その存在価値と意義が見えるからである。

デザインの発展はデザイン教育の支持が重要であり、デザイン教育の対象と目的は社会にデザインを発信する人材を養成することにある。デザイン教育の目標も社会の需要に応じて設定すべきである。中国社会においては、職業の分類は地域の風土によってそれぞれ異なり、地域の経済力によって不均衡も生じている。そのため高等職業学校の設備と条件の差異も生じ、デザイン教育の需要や水準、類型も地域によって格差がある。

## 2. 職業技術学校のデザイン教育の主な内容

デザイン教育は育成目標の違いによって異なる教育課程を行う。本科教育は専門理論、専門表現と専門実践として学生の総合能力の養成を重視する。しかし、職業技術教育は専門実践能力と技術能力の養成を重視する。両者は教育目標にそれぞれの重点があるが、デザイン専門の職業性の特徴を無視することができない。高等職業学校はしっかり「人を育てること」、「道徳を養成すること」を根本的に目指す。大学生の職業道徳教育と法制教育を培養し重視するとともに、大学生の誠実な資格、職業精神及び責任感も重視している。

以下は、3年間のカリキュラムの概要である。（注4）

### 2-1 デザイン意識の育成（第一学年）

デザインの本質は創造であり、創造はデザイナーの創意とその活動から生まれる。バウハウスはデザイン教育のコアが、学生個人にデザインの道を探らせて、自立思考能力を上げることであり、バウハウス独自のデザイン観念、方法、スタイルを学生に伝授することではない。バウハウスが確立した三大構成システムは、現代アートとデザインが主な内容である。学生は物事の構成原理、構成要素を活用して、創造活動を行い、これまでの多くの西洋国家のデザイン学校がバウハウスの教育方式で参照を行っている。デザインの創造性の教育は、いわゆる予備課程、基礎課程での内容を基礎としていた。だからこそ、芸術デザインは盛んに発展することができる。それで、学生の創造意識を育成することはデザイン教育のコアである。

第一学年では、デッサン、構成学基礎、造形基礎、色彩基礎及び簡単なソフトウェアの課程などがある。その上には今後の広告デザイン、パッケージデザイン、室内外の設計図、製品設計図などの関連領域の仕事のために、基礎の教育を重視している。学生は基本的な専門理論の学習を通じて、文字、マーク、図形等の理解能力を高める。

### 2-2 デザイン技能の育成と社会実践（第二学年）

第二学年からデザインの専門課程に入ることを始める。デザイン課程の分類によって相対的な技能訓練を行う。例えば：グラフィックデザイン課程、応用ソフト設計類課程など。一方、学校の授業以外ではできるだけ多くの作品展とコンペの性質を持つ社会活動を参加する。学生は知識を学ぶとともに、もっと良いのは学んだ技能を十分に発揮し、「学んで実際に役立つ」の育成目標を達成する。

第一学年の基礎課程は第二学年の実践課程の前提と基礎であり、第一、二学年段階では学生が基礎知識→デザイン基礎→デザイン制作→デザイン運用の技能育成目標を達成するように配慮している。デザイン課程は2年の学習過程の中で連携を深め、知識と実践の不適合を避ける。3年間の教育なので、社会実践は一般的に第二学年から始まり、第三学年の実習と卒業作品のため、準備しておく。

### 2-3 卒業設計と実習（第三学年）

三年生に入ると、実習に参加するかたわら、卒業設計もしっかりと作らなければならない。卒業設計作品は、三年生の主な任務のみでなく、高等職業教育の質を検査するものにあたるもとも言える。生徒は実習してから、学校に会社で実習した成果の報告をし、学校からそれにより対応する単位を得る。学生は自身の状況により実習しているうちに卒業設計作品と結んで進むこともできる。実習は、三年間の職業教育の検査であるとともに、自身の技能を了解し、卒業生の将来の就職に一定の指示を与えられる。

職業技術学校の教育課程について、袁泉は次のように指摘している。「高等職業学校では芸術専門の教程構造は、職業教育の特徴をもっともはっきり呈するべきである。社会の実際的な需要から出発し、生徒の知識・能力・質素などの適性を合理的に、重点的に育成し、教程の内容を改善・充実し、操作技能と工芸実習を主とする実践を強め、学校と産業の協力を増強して徐々に人材を協力して培養する体制を建立する。」（注5）

### 3. 山東芸術学院

ここでは、大学に相当する山東省の山東芸術学院の視覚伝達デザインの調査をもとにその概要を述べる。（注6）

・規模：山東芸術学院は山東省の総合芸術大学である。山東芸術学院には音楽学院、美術学院、戯劇影視学院、音楽教育学院、デザイン学院、芸術文化学院、舞踏学院、戯曲学院、職業教育学院、成人教育学院、国際芸術交流学院、公共課教学部の13の教学部門を設けている。その中では31の本科専門を開設し、且つ57の専攻、8つ専科専門を含んだ。現在、在学中の普通の本科生、専科生は8577人であり、修士は641人である。学校は在職教員673人、その中では修士学位、博士学位の教員が392人であり、高級専門技術資格をもつ教員は241人である。全国の優秀な教員7人がいる。

#### デザイン学院

山東芸術学院には4つの系があり、芸術デザイン学科、広告デザイン学科、撮影学科、アニメーション学科である。そして芸術デザイン学学科が教員養成として設置されている。デザイン学院で在校の本科生は1555人がいて、各学科在校の修士が112人がいる。現在在職の教員は71人、その中で正、副教授21人、博士学位（在学中を含む）教師8人、修士学位（在学中を含む）教師55人、特別勤講師は17人がいる。

デザイン学院での視覚伝達デザイン専門教育目的：

芸術素養を育成するとともに、視覚伝達デザインの基本的理論の学習と専門技能の応用を高める。視覚伝達デザイン領域、出版社、教育機関、生産製造部門においては高級技術応用型及び管理型の人材を育成している。

専門コア能力：視覚伝達デザインの応用表現能力

・教育目的：芸術デザイン専門の視覚伝達デザインは、装飾デザイン、書籍デザインと展示デザインの三つの専門があり、主要な対象の関連領域は企業のデザイン部門、教育機関、研究機関、出版社などがあり、グラフィックデザイン、企業イメージデザイン、展示デザイン、書籍デザイン及び教育、科学研究がある。これらに適応する人材の育成を目的としている。

・教育内容：視覚伝達デザインの教育内容については、以下の内容を開設している。中国と西洋のデザイン史、デザイン概論、デッサン、色彩学、デザイン基礎、図形アイデア、印刷デザイン、CI企業イメージデザイン、タイポグラフィ、パソコンソフトデザイン、撮影基礎、マークデザイン、平面デザイン、ウェブデザイン、パッケージデザイン、展示デザイン、書籍デザイン、広告デザイン、印刷製品デザインなどがある。

・カリキュラム：  
公共専門基礎課程（専門基礎）

デッサン、色彩、装飾図案、平面構成、色彩構成、立体構成、図形アイデア、タイポグラフィ、撮影基礎、平面デザイン、ソフトウェア基礎、中外美術史、工芸美術史、デザイン概論。

公共文化基礎課程（共通教育）

毛沢東思想概論、鄧小平理論、法律基礎、大学中国語、大学英語。

専門デザイン課程

広告撮影、ポスターデザイン、書籍デザイン、マークデザインとVIデザイン、ウェブデザイン、パッケージデザイン、デジタル撮影、広告デザイン。

専門ソフト課程

PHOTOSHOP、CORELDRAW、CAD、DREAMWEAVER、FLASH、FIREWORK

#### 4. 済南職業学院

済南職業学院は以前の済南教育学院、済南機械職工大学、済南職工科技大学を統合した職業学校である。以下にその概要を述べる。（注7）

・規模：済南職業学院は2004年に統合して創立された。それは全国で最も早く開設された成人教育学校のひとつであり、そして山東省では済南職業学院も最も早く高等職業教育として開設した高等職業学校である。学院の総面積は約24.6万平方メートルであり、学院はコンピュータ系、機械製造系、電子工程系、工商管理系、経済貿易系、旅行管理系、外語系、財経系、文化伝播と芸術管理系、基礎教育部、技術教育部、成人教育学院などの12つ教学系部を設けている。現在、在校生は9403人であり、成人教育（注8）の在校生が5100人いる。教職員は530人で教員が411人である。教授と副教授が123人で、修士学位を持つ教員が66人、高級専門技術者は120人、「双師型資格」（注9）を持つ教員が162人である。文化伝播と芸術管理系について（芸術類）は現在、済南職業学院の中の文化伝播と芸術管理系がデザインと美術に関係しており、教員は23人で、その中では教授が3人、副教授が7人、講師が8人、「双師型資格」を持つ教員が18人、芸術類学生が約1000人在籍している。

・教育目的：文化伝播と芸術管理系の教育目的は芸術素養、デザイン基本理論知識、デザイン能力とデザイン意識を育成するとともに、市場意識と専門技能と創造意識を培養する。学生は卒業した後がより速く社会に適応するとともに、市場ニーズによって、様々なデザインの仕事を担うことができる。高いデザイン能力と専門技能は職業技術学校のデザイン教育のコアになっている。

・教育内容：主要な課程はデッサン、色彩、平面構成、色彩構成、立体構成、イメージデザイン、グラフィックデザイン、実践課程、実習、社会实践活动などである。

・カリキュラム：済南職業学院視覚伝達デザイン（3学年までの第1学期から第6学期）  
 授業内容は以下の表である。

授業	課程	課程	番号	課程名称		単位	総時	理論	実践	週時	試験	注
第 一 学 期 16 週	公 共 基 礎 課	1	思想道徳修養と法律基礎	B0104001	3	48	40	8	3	2		
		2	体育と健康1	B0102001	1	36	4	32	2	1		
		3	大学英語1	B0302001	4	64	40	24	4	1		
		4	パソコン応用基礎	B1001001	4	64	32	32	4	1		
		5	大学生心理健康教育	B0001005	1	36	16	20	2	2		
		6	軍事理論	B0001010	2	36	36		2	2		
	職 業 基 礎 課	7	デザインデザイン	B0202002	4	64	8	56	16×4	1		
		8	デザイン色彩	B0202003	4	64	8	56	16×4	1		
		9	構成基礎	B0202004	4	80	16	64	20×4	1		
	職 業 訓 練 課	10	創意基礎	B0202018	4	64	12	52	16×4	1		
		11	軍事訓練	B0001005	2	2 50		50	✓	2		

第 二 学 期 16 週	公 共 基 礎 課	1	毛沢東思想と中国特色社会	B0103003	4	64	56	8	4	1	
		2	体育と健康2	B0102002	1	36	4	32	2	1	
		3	大学英語2	B0302002	4	64	40	24	4	1	
		4	大学生職業発展と就職指導	B0001003	2	36	36		2	2	
		5	道徳教育	B0001009	1	18	18		1	2	
	職 業 基 礎 課	6	字体デザイン	B0202005	4	64	12	52	16×4	1	
		7	図案デザイン	B0202007	4	64	12	52	16×4	1	
		8	装飾画	B0202014	4	64	12	52	16×4	1	
		9	Photoshop画像デザイン1	B1001018	4	64	12	52	16×4	1	

第三学期 16週	選修課	公共基礎	1	体育と健康3	X0102001	1	36	4	32	2	1	
		必修課程	2	大学英語3	B0302003	4	64	40	24	4	1	
	職業基礎	3	Photoshop 画像デザイン2	B1001019	4	64	24	24	16×4	1		
		4	マークデザイン	X0202007	4	64	12	52	16×4	1		
		5	イラスト技法		4	64	12	52	16×4	1		
		6	POP与DM広告手描き技法		4	64	12	52	16×4	1		
	選修課	職業技術	7	Coreldraw		3	64	12	52	4	1	
	選修課程	開拓課程	8	大学中国語	Q0201001	2	32	32	0	2	2	
		9	写生	B0202029	2	36	36	48	✓	1		

第四学期 16週	必修課程	公共基礎	1	情勢と政策	B0103002	1	64	32	32	1	2	
		職業基礎課程	2	広告企画案制作		3	32	32	0	2	1	

	技術課	3	VIデザイン	B0202008	4	64	12	52	16*4	1		
		4	InDesign 版面デザイン	X0202009	4	64	12	52	16*4	1		
		5	書籍デザイン	X0202010	4	64	12	52	16*4	1		
		6	平面広告デザイン	B0202020	4	64	12	52	16*4	1		
	選修課	開拓課程	7	Illustrator		4	64	24	40	4	1	
		8	撮影	X0202005	4	32	20	12	2	1		
	選修課程	9	応用作文	X0201022	2	32	10	20	2	1		
		10	中国書道	Q0202001	2	32	8	24	2	2		

第五学期 16週	必修 課程	技	1	包装構造と包装デザイン	B0202019	4	64	12	52	16*4	1	
		2	印刷工芸		4	64	12	52		1		
		3	flashアニメーション	X0202013	4	64	24	40	4	1		
		4	ウェブデザイン		4	64	12	52	16*4	1		
		5	デザイン心理学		3	32	32	0	16*2	1		
		6	市場のマーケティング学		3	32	32	0	2	1		
	選修 課程	7	中国美術鑑賞	R0202012	2	32	12	20	2	2		
		8	広告作品鑑賞	R0202006	2	32	12	20	2	2		
		9	礼儀	R0201010	2	32	22	10	2	2		
第六学期	必修 課程	1	自習	B0001001	14	560	0	560		2		
		2	卒業制作	B0001002	2	80	0	80		2		

視覚伝達デザイン専門の履修時間、単位について

課程類別	履修時間			単位		
	総学時	理論課程	実践課程	総単位	理論課程	実践課程
公共基礎課程	666	398	268	33	20	13
職業基礎課程	816	172	644	51	11	40
職業技術課程	576	132	444	35	8	27
開拓課程	224	116	108	16	8	8
職業訓練課程	848	76	772	28	4	24
総計	3130	894	2236	163	51	112
パーセント%	100%	29%	71%	100%	31%	69%
課程類別	学 時			単 位		
	総学時	理論課程	実践課程	総単位	理論課程	実践課程
必修課程	2742	750	1992	139	42	97
選修課程	388	144	244	24	14	15
総計	3130	894	2236	163	51	112
パーセント%	100%	29%	71%	100%	31%	69%

公共基礎課程とは共通教育であり、職業基礎課程は専門の基礎である。職業技術課程は専門の応用である。開拓課程は作品の鑑賞である。職業訓練課程は企業、社会と連携した現地での実習である。

## 5. 職業教育のデザイン教育、企業と社会について

本調査では、主に山東芸術学院芸術デザインの教員の趙青氏との面談調査によって、以下のような問題と



提案がなされ筆者がその内容を整理した。(注10)

### 5-1 企業と学校間の協力をを行う

職業学校のデザイン教育と職業現状の分析によって、高等職業学校のデザイン教育は、商業との交流・協力を増強すべきである。すなわち理論と実践を結び、学校と企業が連携し、職業学校と企業との両方の発展を求めることである。学生は技術を習得するとともに、市場や社会も理解することで、市場の変動するニーズに応じて自身の考えを変え、将来の就職活動のための基礎をしっかりと固めることができる。

高等職業学校のデザイン教育は市場・経済・科学・技術と緊密に繋がる教育モデルである。これを通じて、現在の職業教育は市場・社会などから離れていた問題を解決することができるようになった。職業デザイン教育は必ず市場の要求を考慮しなくてはならない。

芸術と市場を結びつける要素の一つはデザインであり、デザインの核心は創造にある。デザインは一種の新型の社会生産力と言える。職業デザイン教育と市場企業との繋がりは、社会効果と利益の向上が期待されると同時に、人材の育成によい影響が生まれ、職業教育の体系の改革も促進される。

高等教育の構造の重要な一部分として、高等職業教育は高等技術応用型人材の育成を目標としている。職業教育と産業・企業からの支持との繋がりは切り離すことはできない。また産業・企業には高等職業教育が利用できる豊富な価値がある。学校と企業の協力により、社会の優先する価値に基づいて、有効でスムーズで穏やかな「現地実習」を提供できる。現地実習とは、三年間にわたって、専門訓練と職業質素の育成を一連させて行っている場所である。「教育部財政部關於推進職業教育若干工作的意見」によると、中央財政において特別の資金項目を設け、専ら各地の職業教育の現地実習を実施するための支援に使用している。

(注11) そのことから、政府と企業が職業教育の施設の建設をどれほど奨励しているかがわかる。以下に連携のモデルを述べる。

#### (1) 学校と企業が協力するモデル

校内・外の現地実習の設定は、実践教育を強化し、学生の実践能力を育成するのに大きな役割を担っている。学校と企業が協力するモデルは資金の投入と設備の支持により成り立つ。つまり学校では、有料あるいは無料で場所を提供して、企業の仕事項目に沿った企画や設備を学校まで移させて、学生にデザイン・制作の実習をさせる。前述した職業学校の設備不足の問題の解決も、学校と企業の協力目的の一つである。これによって、学校の実践教育を有効に行えとともに、企業の人材確保にも有益である。

#### (2) 校内で現地訓練の工房を建立するモデル

平面デザインの実践授業を例にして挙げれば、工房の実習形式で教育を行うことは、現代のデザイン教育における新しい授業モデルである。これはデザイン専門を基礎として、中堅教師を核とし、教授などの人的資源を十分に活用して教授・研究・実践を並行して実行することである。学部からのデザインの仕事を受けたり、各種のデザインコンペとその作品の落札競争に参加したり、教師と学生が協力して完成するというようにである。工房という形式での授業方式によって、学生はデザインについて多方面で探索でき、実践操作を実現させるのみでなく、学生と教師の間に信頼できる関係も樹立でき、その上、学生は学校で学習する期間でありながら、多くのデザイン実践の機会を与えられて、就職に向けて経験と実績も積み重ねることができる。

#### (3) 学校と学校の連合モデル

専門の内容が同じかあるいは類似した職業学校で学校の所在地が近ければ、共通の現地実習を設置するというモデルである。実践授業を順調に展開するために、現地実習では、「教え」と「学び」の間に教師と学生のインタラクティブな活動を設定し、学生に体験させる。こうしたモデルで、繰り返し練習することにより、学生の学習成果は明確に見えてくる。多くの学校において、このモデルが有効に実践されている。

一方、高等職業学校の経費には限りがあり、社会が供給する設備を共同で利用したほうがよい。社会活動、企業協力によって費される経費も押さえることができる。

企業と長い時間の協力関係を保ち、企業を学生の実践訓練の場所とし、企業とともに人材を育成する体制を貫いて行くことが質的向上のために必要である。たとえば、学生は企業を見学し、デザイン企画に参加することができ、社会と企業とが接触できることで合理的情報を得て、市場が発展していく動向を知ることができ、企業がどのような人材を求めているが理解できる。そして、市場の需要に応じて、学習成果をまとめ、自身の技術不足を発見し改善して、学習の目標を明確にする。まず学生を職業教育など専門の特色を認識さ

せてから、「学習→実践→応用」と「学校→企業→社会」のステップが実現され、そのうちに応用型の職業技術人材として育成される。これも高等職業教育の育成目標と教育特色と言える。

## 6. 職業学校のデザイン教育の将来の方向

職業デザイン教育が今後どういう方向に向いて進むかということについては、職業学校と市場・経済・科学・技術とが緊密に連携するように、市場化・産業化を考慮する必要がある。中国の経済は急速に躍進していることと、東西文化の交流はいつそう深く進展するのに伴い、各領域の競争は絶えず広まりつつある。現在、市場からデザイン領域への需要は拡大しているため、企業で専門的なデザイン部門を設定されるという状況もあり、さらにデザイン会社も次々に生まれている。市場の需要は、デザインという職業の発展をもたらすが、求めているデザイン人材の数も多くなり、その専門での水準に対する要求も厳しくなっている。

人材の水準は企業・社会の発展段階によっているからである。

中国において、デザイン業は主に大・中型企業にあるデザイン部門と独立したデザイン会社に分布している。前者は後者より早く発展しているが、後者は数の面で優先している。それゆえに、デザイン人材の需要は技術実用性を主としている。従って、職業技術学校のデザインを専門とする学生は、将来の就職と発展の余地はまだ楽観的であろう。

中国は地域が広く、民族が多い国家である。そのため、地域により経済発展と地域の特色はそれぞれ違い、それなりの利点と特色もまったく異なっている。各地域の利点と特色を結び、多領域の特色教育を創設することが将来の職業教育の重要な目標の一つであろう。1990年代の初めにおける、国連のユネスコは「21世紀に向けた教育国際研究会」を開き、会議では、「教育の民族特徴、地方特徴を重視し発展させるのは、世界教育の傾向である」との指摘をした。（注12）この会議の精神は将来の中国高等職業教育に明確な教育方向と発展方向を提供するものである。

## おわりに

高等職業教育の推進と発展、建学の特色と職業技能の向上に伴い、高等職業教育は将来の高等教育において半分以上を占めることになるであろう。政府と企業は協力して、職業教育を積極的に発展させていくであろう。芸術デザインの専門は製造業に関係するものが多く、特に印刷業などのような国家の基礎産業では、芸術デザインの人材の需要が大きい。卒業生の就職範囲もほかの専門の学生より広いといえる。ドイツ人はデザインと製造を利用して国家の経済を振興させ、フランス人とイタリア人はファッションデザインの理念を新型国家のイメージとして発信し、日本人と韓国人は伝統文化の恩恵をデザインとして創意工夫することで国家を発展させている。同様に、デザインは中国の経済発展にも大きな影響があると思われるが、デザイン教育の質を向上させて、教育体系を改善させ、デザインに関わる産業を重視してこそ、我が国が生産する製品の価値を高められる。そうして初めて本当に「Made in China」から「Chinese design」に変えていくことができる。

## 付記

本稿は福田と劉が企画し、劉の実態調査を基に劉が執筆し福田が調整した。

## 注

- 1 中国教育局ホームページより。
- 2 「教高「2006」16号書類」：中国教育部は2006年に全面的に高等職業教育の教学質量的若干意見を高めることについて第16号書類を発表した。
- 3 以下の文献を参考にした。※《中国当代高等芸術設計教育現状及び改革の思考》2007年3月 邢益波 荣鹏鹏（江南大学設計学院）
- 4 以下の文献を参考にした。袁泉、「我が国高等職業学校芸術設計専門教育現状の問題分析」（南京芸術

学院修士論文) 2008年 4 月

5 前掲 4

6 劉の2013年 3 月の訪問調査による内容である。対応していただいた教員は趙青氏である。

7 劉が入手した済南職業学院の学院解説書による。

8 成人教育とは社会人に向かって大学レベルの教育制度を指す。

9 「双師型資格」とは教師資格証明書と職業技能証明書の両方を有した教員である。

10 劉が2013年 3 月に実施した調査によるものである。

11 「教育部財政部關於推進職業教育若干工作的意見」：中国教育財政部は2004年に発表した第 9 号書類である。

12 「21世紀に向け教育国際研討会」：1989年12月にUNESCOは北京における高等職業技術師範教育発展についての研究討論大会を開催した。

## 参考文献

邢益波、荣鹏鹏：「中国当代高等芸術設計教育現状及び改革の思考」、江南大学設計学院 p. 1, 1-4, 2007.

闫丹丹：「对中国芸術設計教育未来發展方向の探討」、『文芸生活：中旬刊 2009 年第五期』 p. 1, 22-28, 2009.

李红艳：「高等職業教育芸術設計実訓基地建設と実践研究」、黒龍江教育学院 p. 1, 12-50, 2012.

常跃中：「市場化、産業化—芸術設計職業教育發展之路」、湖北大学教育学院 p. 1, 38-50, 2004.

周文海、王法山：「芸術設計の創新教育と社会發展の關係」、黒龍江大学 p. 1, 13-20, 2006.

袁泉：「我が国高等職業学校芸術設計専門教育現状の問題分析」、南京芸術学院 p. 16-19, 2008.

陳希：「对中国高等職業芸術設計教育の發展戰略研究」、番禺職業技術学院 p. 1, 21-30, 2003.

劉堅、張超：「新時期芸術設計教育の方法を探索する」『テスト週刊 2011 年第 25 期』、九江職業大学 p. 1, 8-10, 2011.

趙明明：「高等職業、高等専科のデザイン専門はどのように素質教育を強化する」『職業教育 2010 年第 8 期』、焦作大学芸術学院 p. 1, 11-16, 2010.

藍先琳：「高等職業教育・芸術デザイン教材造形デザイン基礎平面構成」、中国輕工業出版社 p. 24, 1-10, 2011.

教育部の教高 [2006]16 号書類，即ち：「教育部關於全面提高高等職業教育教學質量的若干意見」